

韓国における考試院及び考試村の施設分布等に関する研究
 - 韓国ソウルの鷺梁津考試村(ノリヤンジンコシジョン)を中心に -

A Study on distribution of Facilities of GOSIWON and GOSICHON in Korea
 - Focused on the Noryang-gin Gosichon in Seoul, Korea -

○趙在赫¹, 山中新太郎²
 *Jo Jaehyuk¹, Shintaro Yamanaka²

In a modern city, there are various types of Housing facilities. In the republic of Korea, there is a minimal housing type called 「GOSIWON」. GOSIWON does not have all the functions of a common housing. For GOSIWON to be considered as such, it needs facilities around itself to supplement it, and GOSICHON has various facilities to support GOSIWON. This is why I focus my attention on GOSICHON. This study aims to prove its organization and classification of Quasi-housing from the point of view of Architectural planning.

Keywords: Minimal House, Quasi-housing, GOSIWON, GOSICHON

1. 研究の背景と目的

今日韓国では様々な形の居住様式が存在する。特に最近
 は独身者比率の増加により、1~2人世帯が急増している。
 2005年に韓国の統計庁で実施された人口住宅総調査による
 と、全世帯のうち単身世帯の比率は20.3%であり、2030年
 には単身世帯の比率が24%を超えると予想された。しかし、
 単身世帯は予想よりも速い速度で増加の傾向を見せ、2010
 年の調査によると、すでに単身世帯の比率は23.8%を占め
 ることが確認されている。

こういった時代背景を元に、韓国では‘考試院(コシウォン)’
 という一人暮らしの最低限の住居施設が急増し、2015
 年現在、ソウル市に約6,240か所が存在している[図1]。
 その中で特に‘冠岳区新林(クァナクシンリム)’と‘銅雀
 区鷺梁津(トンジャクノリヤンジン)’一帯は考試院が集中
 的に集まっている地域で、昔から‘考試村(コシジョン)’
 と呼ばれている。住宅として不十分な考試院が居住施設と
 して機能するためには、周辺から足りない機能を補う必要
 があり、考試村には考試院を成立させるため様々な施設が
 分布している。今まで考試院は法律的に住宅に含まれなかつ
 たが、2010年4月に改正された住宅法により「準住宅」とし
 て住宅の範囲に含まれることになった[表1]。その結果、
 本来住居施設として機能が満たされない施設が、今は最低
 限の住宅として普及されている。この傾向は人口構造の変
 化や経済状況に伴い、今後も続くと考えられる。

そこで本研究では、考試院密集地である考試村の都市構造
 を分析しながら、現在も変容されている考試院の分類基準
 を提示することを目的としている。



図1.ソウル各区分別考試院の数(単位:箇所)
 出典:2015.5ソウル消防災難本部からのデータを再構成

2. 既往研究と研究の位置づけ

考試院に関しては建築計画、制度、社会学における分野
 で様々な研究がなされている。建築計画的分野では消防環
 境と火災安全性、考試院運営実態、居住環境向上方法など
 の研究が存在する。特に、ジウンナムイルは2011年大韓建
 築学会で発表した論文で、“個人空間以外の室が除去され、
 住宅と寮の境界に位置する住居形態が、現在の考試院に見
 られる。”そして、“最小限の個人空間と共同生活空間が結
 合されている形態として、日帝植民地時代に日本人労働者
 のために建てられた‘寮’から変形されている。”と指摘し
 ている。なお、ソウル市政開発研究院のシンサンヨンによ
 り2010年発表された準住宅の実態と制度に関する研究で
 は、当時考試院施設の詳細なデータと共に考試院密集地域
 の分析が行われている。

一方で、2011年にジョンミンオは、社会学の観点から考試
 院住居者の経験を中心に現世帯の住居問題を具体的に扱っ
 ている。これらの調査では考試院の密集地である「考試村(コ
 シジョン)」に関する研究は十分になされていない。

そこで本研究では、考試村を対象に考試院と周辺施設との
 関係を建築計画的な視点から分析する。

3. 研究の対象

現在ソウル市内には新林と鷺梁津に2つの考試村が存在
 する。そのうち新林考試村は考試院が減少し、単身向き住
 宅に変更されている事例が多い。一方で鷺梁津考試村は近
 くに各種試験向きの予備校があり、考試院も多く残ってい
 る。そのため本研究では勉学のために利用される考試院に
 着目し、それらが集積されている鷺梁津考試村を対象に研
 究を行う。

表 1.法律による住宅の分類

建築法		住宅法	
単独住宅	單獨住宅	個人住宅	單獨住宅
	多衆住宅		共同住宅
	多寡口住宅		
共同住宅	アパート	共同住宅	住宅
	連立住宅		
	団地型連立		
	多世代住宅		
	ワンルーム型住宅		
2種近隣生活施設 / 宿泊施設	寄宿舍	準住宅	
	考試院(コシウォン)		
	一般業務施設		
	老幼者施設		
一般業務施設	オフィステル		
老幼者施設	老人福祉住宅		

出典:イサンホ,イウンジュ,室内共用スペースの利用満足度調査を通
 じた準住宅の居住環境向上の方法に関する研究,大韓建築学会論文
 集_第30巻第4号(通巻306号),2014年4月

4. 研究範囲と方法

本研究では文献調査と現地調査を並行しており、現地調査としては居住様式を把握するため鷺梁津考試村の居住者である受験生と業者にアンケート及びヒアリング調査を、そして考試院や考試村の空間利用実態を把握するため実測調査を行っている。本研究では、[図 2] の赤線が示している鷺梁津 1 洞行政区域の中で、ゾンユンジュによる研究から考試村の範囲を青線内に絞り、現地調査を実施する。



図 2.鷺梁津行政区域と考試院(コシウォン)居住者の生活範囲
筆者作成 (2015.7)

5. 考試院の特徴

(1) 考試院の定義

「多重利用業所の安全管理に関する特別法」で、考試院は多重利用業の中で考試院業の施設で、独立された住居の形態でないものと定義されている。尹 凌穎によれば、一般的に区画された室内で学習者が勉強できる施設を備えて、宿泊または食事を提供する形態のものを考試院と呼ぶ。^{*2}

(2) 考試院の諸室構成

考試院の形は様々だが、シンサンヨンなどの研究によると、一般的に 30~50 個の個室に区画されており、睡眠と最小限の生活が可能で 1 人用の個室と衛生・洗濯・食事などの機能を持つ共用スペースから構成されている。^{*4}

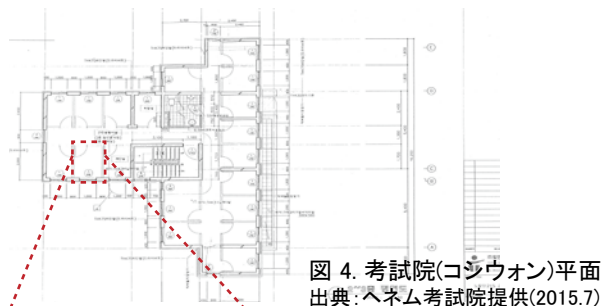


図 4. 考試院(コシウォン)平面
出典:ヘナム考試院提供(2015.7)

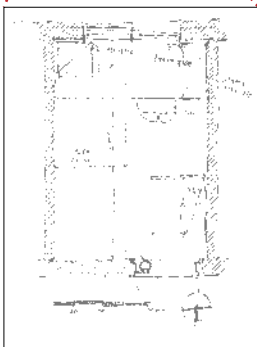


図 5. 考試院の個室平面
筆者作成(2015.9)



写真 1. 考試院の個室と廊下
出典:著者撮影(2015.7)

(3) 考試院の平面上の特徴

鷺梁津考試村で見られる考試院の多くは [図 4] のように、面積は約 3.3~4.8 m²の個室が中廊下に並べている。各層には共同のトイレとシャールームがあり、各個室では幅 75 cmのベッドと机、冷蔵庫、エアコンなどが提供されている。

6. 考試村の範囲と施設分布

(1) 考試村の範囲

2015 年 7 月に鷺梁津考試村で実施した居住者に対するアンケート調査では、考試村が [図 2] で緑色線の範囲で認識されていることが確認できた。

(2) 施設分布の特徴

2015 年 9 月に行われた、第 2 回目の現地調査では [図 3] のように考試院が密集的に分布していることが確認できた。考試院は元住宅地であった街路の内側に多く分布している。街路側では複合的な施設があり、その中に考試院施設が含まれている場合もある。特に考試村では考試院の周辺に個人が自習できる読書室が多く、それらは考試院と連携して利用される場合も多数存在する。



図 3. 考試村の施設分布
筆者作成 (2015.9.8~13現地調査)

参考文献

- 1) シンサンヨン：ソウルを事例とした準住宅の実態と政策方向，住居（韓国住居学会誌），6(2)，pp.35~43，2011
- 2) 尹 凌穎：韓国における単身者向けの新たな住宅制度とシェアハウスに関する研究，日本建築学会，2013
- 3) イホヨン：コシウォン平面類型別消防環境実態調査と火災安全性の向上に関する研究，大韓建築学会計画係第 25 巻第 11 号，2009.11
- 4) イサンホ，イウンジュ：室内共用スペースの利用満足度調査を通じた準住宅の居住環境向上の方法に関する研究，大韓建築学会論文集_第 30 巻第 4 号（通巻 306 号），2014.4
- 5) ジュンナムイル：「最小限の住宅」の社会的変遷と空間特性，大韓建築学会計画係第 27 巻第 3 号，2011.3
- 6) ゾンユンジュ：ソウル市鷺梁津学院の分布パターンと学園サービスの空間的範囲，修士論文，高麗大学，2009.7
- 7) アンジョンファン：禅寺の建築的概念，韓国芸術総合学校芸術専門士認定論文，2001.12
- 8) ジョンミンオ：青年世代、家の意味を問う，韓国社会学研究論文_第 45 集 2 号，pp.130~175，2011 年